

令和5年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

2 沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づいて千葉県知事の設立許可を受けて発足。その後施行された「公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)」の規定により、公益財団法人への移行を申請、千葉県知事の認定を受け、平成26年4月1日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行した。

第2 事業の実施状況

1 事業の概要

令和5年度の事業は、令和5年2月9日開催の令和4年度第2回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

2 事業の内容

(1) 印旛沼および流域における調査研究(定款第4条第1項第1号関係)

① 水質調査結果および各種環境情報等の収集と取りまとめ

印旛沼および流域の河川・排水路等で千葉県および流域市町が前年度に実施した水質等に関する調査や印旛沼等の環境保全に関わる各種情報(流域市町が対処した環境に関する問題や苦情、助成した事業、環境関連行事、啓発活動など)について取りまとめた。

これらの結果については、令和6年度に取りまとめる令和5年度の結果とともに「令和5・6年版印旛沼白書」に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

② 印旛沼の植生等に関する調査

繁茂面積の拡大が懸念される特定外来生物のナガエツルノゲイトウおよび在来のオニビシについて、効果的な除去対策の検討等に資するため、継

続的に監視が必要と思われる地点を中心に、ドローンを活用し年間を通した繁茂状況の監視・調査を行った。

(2) 講習・学習会および観察会（定款第4条第1項第2号関係）

① 講習・学習会等への講師派遣

関係機関からの要請を受け、下表に示す講習会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
R5.7.28(金)	成田国際文化会館	印旛沼を取り巻く環境の変化と現状	(一社)千葉県環境保全センター印旛支部(会員22名)
R5.8.18(金)	ふれあいプラザさかえ	私たちと印旛沼	栄町(さかえまちづくり大学(19名))
R5.8.30(水)	成田市生涯大学校	私たちと印旛沼	成田市教育委員会(成田市生涯大学院31名)
R5.8.31(木)	成田市生涯大学校	私たちと印旛沼	成田市教育委員会(成田市生涯大学院37名)
R5.11.6(月)	佐倉市立根郷中学校	印旛沼と生態系	佐倉市立根郷中学校(3年1・2組78名)
R5.11.16(木)	東京ベイ幕張ホール	印旛沼の昔と今～循環について考える～	(一社)日本環境保全協会(一般廃棄物適正処理推進大会参加者)

② 観光船による印旛沼観察会（共催：印旛沼水質保全協議会）

6月初旬の台風および前線活動の活発化に伴う大雨により、栈橋が損傷し観光船の安全運航が困難となったため中止とした。

③ 親子で学ぼう印旛沼（共催：各市）

令和5年5月および8月に共催各市在住の親子を対象として、印旛沼や水に関する理解や関心を深めるため、以下のとおり観光船による沼や周辺の観察と簡易な水質検査の体験学習等を行った。6市から延べ62家族179名の参加があった。

5月27日(土)佐倉市：参加者19家族62名(うち子ども33名)

8月9日(水)印西市：参加者6家族14名(うち子ども7名)

8月10日(木)船橋市：参加者6家族13名(うち子ども7名)

8月19日(土)八千代市：参加者12家族39名(うち子ども20名)

8月22日(火)四街道市：参加者11家族33名(うち子ども19名)

8月29日(火)成田市：参加者8家族18名(うち子ども10名)

④ 印旛沼環境基金公開講座

ア 座学方式（共催：佐倉市）

流域住民がより一層印旛沼について理解や愛着を深められるよう、以下のとおり2回の講座を開催した。印旛沼流域の地形、地質、土地利用と印旛沼の関わりについて、長年調査研究に携わっている方々の話を聴き理解を深めた。

- ・開催場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
- ・メインテーマ：印旛沼を育む台地の成立ちと恵み

開催日	テーマ	講師（所属・氏名）	聴講者数
R 5.12. 2 (土)	台地の成立ちー地形・地質・水ー	千葉大学名誉教授 近藤昭彦 (NPO 法人水環境研究所)	37名
R 5.12. 9 (土)	湧水が育む印旛沼の水環境／豊かな生態系	岩井久美子／梅里之朗 (NPO 法人水環境研究所)	34名

イ 見学会方式（共催：成田市・なりた環境ネットワーク）

印旛沼や関連施設から離れた地域の住民も参加しやすく、また現地視察により理解を一層促進できるよう、バスツアーによる講座を行った。

水資源機構千葉用水総合管理所大田和排水機場の見学と同所職員の説明を聴き、印旛沼の水管理等について学んだ。また、印旛沼観光船による沼の自然観察を行うとともに、国営かんがい排水事業（印旛沼二期地区）で新たに整備され令和2年度に供用が開始された宗吾西機場の見学を通し、印旛沼の現状等について理解を深めた。

- ・対象：成田市民、18名
- ・日時：令和5年9月12日（火）9：00～16：00

(3) 啓発・宣伝（定款第4条第1項第2号関係）

① ホームページの公開

一般市民や関係団体に対して、インターネットを利用し当環境基金の事業等の紹介や印旛沼および流域の環境保全等に関する情報を広く伝えるため、ホームページの内容を随時更新し公開した。

② 「水辺の風景画コンクール」（第26回）の開催

印旛沼流域内の小・中学校の児童および生徒の水環境への関心を醸成するため、印旛沼および流域の河川等や他地域で見たり触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集した。審査・選考した作品を公津の杜コミュニティセンター（愛称：もりんぴあこうづ）で展示するとともに、最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞の計16点の入賞作品については表彰並びに流域市町において巡回・展示した。

なお、もりんぴあこうづにおける展示期間中(6日間)の来館者は、延べ860名であった。

- ・応募学校数： 138校 (小学校： 107校、中学校： 33校)
(注：義務教育学校から小・中とも応募があり内訳と合計が一致しない)
- ・応募作品数：2,624点 (小学校：2,332点、中学校：292点)
- ・展示作品数： 253点 (小学校： 219点、中学校： 34点)
- ・表彰： 最優秀賞1点：藤村 華音 (千葉市立星久喜中学校2年)
優 秀 賞2点：米澤 しずく (成田市立大栄みらい学園6年)
友野 光 (白井市立清水口小学校5年)
市町長賞13点
- ・表彰式：令和5年11月5日(日)もりんぴあこうづ・多目的ホール
- ・展示会場：もりんぴあこうづ・市民ギャラリー
- ・展示期間：令和5年10月31日(火)～11月5日(日)
- ・巡回展示：流域市町 (展示期間：各市町5日間程度)
令和5年11月10日(金) ～ 令和6年2月14日(水)

③ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形 式	部数	備 考
R 5 . 8 . 31	雑誌「印旛沼」(第44号)	A4判8頁	4,000	委託印刷

④ 刊行物等の展示・配布

印旛沼流域住民に印旛沼の現状と重要性の理解を深めてもらえるよう、講習会・学習会・助成事業成果報告会・水辺の風景画コンクール等において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、または有償頒布した。

(4) 環境保全団体等への助成(定款第4条第1項第3号関係)

印旛沼および流域において自然環境や環境保全に関する調査・研究や啓発等の各種活動を行っている小学校、高等学校、大学およびNPO法人等を含む市民団体を対象に、その活動を支援するため助成金を交付するとともに、その成果についての報告会を開催した。

① 助成対象の団体

高等学校・大学各1団体、NPO法人・一般団体等9団体の計11団体

② 助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校および団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

ア) 開催

- ・ 日時：令和6年1月23日(火)10:00～15:00
- ・ 場所：千葉県印旛合同庁舎 2階大会議室

イ) 講 師 :

渋谷 康秀 (千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事)

古嶋 美文 (印旛沼流域水循環健全化会議 委員)

瀧 和夫 (千葉工業大学名誉教授)

但し、所属および職名は令和6年1月23日現在

ウ) 参加者 : 45名 (講師を除く)

エ) 報告の課題名と団体

	題 名	団 体
1	印旛沼水系新川および桑納川周辺の水質汚濁調査	千葉英和高等学校 生物研究部
2	印旛沼マイクロプラスチック調査	日本大学生産工学部 応用分子化学科
3	印旛沼流域の湧水調査と印旛沼流域の水環境マップ作製	NPO 法人 水環境研究所
4	若者と語る印旛沼の未来	NPO 法人 環境パートナー シップちば
5	印旛沼流域鹿島川における計測と感性評価を総合した環境調査の試み	NPO 法人 環境・地理探訪 クラブ
6	印旛沼流域に於ける里山・水環境の調査・保全と市民啓発活動	NPO 法人 四街道メダカの 会
7	里山整備や自然観察会等を通じた里山保全・保護活動	里山の会 ECOMO
8	竹林整備を中心とした里山保全活動	佐倉里山支援28
9	二重川散策マップ作成と鯉のぼり事業	二重川に親しむ会
10	カヤックを利用した印旛沼／鹿島川の環境美化	佐倉市カヌー協会
11	神崎川を楽しむ	白井社会ボランティアの 会 : SSV A